

臨床医学概論

責任者・コーディネーター	臨床医化学分野 那谷 耕司 教授、臨床医化学分野 大橋 一晶 准教授		
担当講座・学科(分野)	病理学講座機能病態学分野、超高磁場MRI診断・病態研究部門、臨床腫瘍学講座、内科学講座糖尿病・代謝内科分野、泌尿器科学講座、頭頸部外科学科、産婦人科学講座、脳神経外科学講座、小児科学講座、補綴・インプラント学講座、臨床検査医学講座、放射線腫瘍学科、歯科保存学講座歯周療法学分野、臨床医化学分野		
対象学年	4	区分・時間数	講義 22.5 時間
期間	通期		
単位数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

6年制薬剤師教育においては、医療現場で活躍する薬剤師を育てる医療薬学が重視されている。「臨床医学概論」では、主に岩手医科大学医学部・歯学部教員らによる基礎医学、臨床医学の講義により、医療現場での「診療」について学び、医療現場で必要になる知識や技能の習得を目指す。また現在の医学、医療が直面している問題点とその解決法についての理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

本講義では、主に医療現場で働く岩手医科大学附属病院の医師・歯科医師らの解説により、様々な分野における主要な疾患についての病因、検査、診断、治療方針などを学ぶことで、良質で安全な医療を実践するために臨床薬剤師として必要な基本的な医学知識を習得できる。
また、薬剤師としてチーム医療に携わる心構え、コミュニケーション法についても理解が深まる。
(ディプロマ・ポリシー：2, 4, 7, 8, 9)

・到達目標（SBO）

1. 基礎医学・臨床医学の基本概念を学び医療のしくみを知る。(☆)
2. 医療に求められる技能、態度、倫理、安全性を理解できる。(☆)
3. 現代医療の現状と役割について理解できる。(☆)
4. 体の仕組みを学び、病気が患者に及ぼす影響について概説できる。(☆)
5. 代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。(☆)
6. 病理診断について理解し、医学における病理学の役割について説明できる。(☆)
7. 循環器系、脳神経系、女性生殖器系、皮膚疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。(☆)
8. 頭頸部、小児、口腔の疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。(☆)
9. 糖尿病の症状と最先端の治療について理解し、糖尿病治療において薬剤師が果たす役割について概説できる。(☆)
10. 診察から治療までの流れを理解し、その中で薬剤師が果たす役割について概説できる。(☆)
11. 放射線腫瘍学について概説できる。(☆)

12. トランスレーショナルリサーチについて概説できる。(☆)
 13. 法医学、法科学において薬剤師が果たす役割について概説できる。(☆)
 14. 現代医学・医療が直面している問題点を理解できる。(☆)
 15. 医師、歯科医師の視点から疾患を考えることができる。(☆)

・ 講義日程

(矢) 東 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/6	金	3	頭頸部外科学科	志賀 清人 教授	診断と治療1 (頭頸部疾患) (☆) 1. 頭頸部疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。
5/9	水	3	内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野	石垣 泰 教授	診断と治療2 (糖尿病) (☆) 1. 糖尿病の症状と最先端の治療について理解し、糖尿病治療において薬剤師が果たす役割について概説できる。
5/14	月	3	臨床腫瘍学講座	伊藤 薫樹 教授	診断と治療3 (がん薬物療法学) (☆) 1. 血液悪性疾患および種々の固形がんに対する薬物療法の実際について説明できる。
5/25	金	2	臨床医化学分野	赤坂 俊英 非常勤講師	診断と治療4 (皮膚疾患) (☆) 代表的皮膚疾患を紹介するとともに、その薬物治療法、特に外用治療について講義する。 講師：北上済生会病院 院長 1. 皮膚疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。
6/26	火	4	超高磁場MRI 診断・病態研究部門	佐々木 真理 教授	トランスレーショナルリサーチ (☆) 1. 現代医療の現状と役割について理解できる。 2. トランスレーショナルリサーチについて概説できる。
7/3	火	4	産婦人科学講座	庄子 忠宏 講師	診断と治療5 (産科・婦人科疾患) (☆) 1. 女性生殖器疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。
8/27	月	3	臨床医化学分野	橋谷田 真樹 非常勤講師	薬剤師と法医学 (☆) 講師：関西医科大学医学部法医学講座准教授

					1. 法医学、法科学において薬剤師が果たす役割について概説できる。
9/6	木	1	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	臨床検査法概論1 (☆) 1. 代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げるができる。
9/6	木	2	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	臨床検査法概論2 (☆) 1. 代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げるができる。
9/10	月	2	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	診断と治療6 (脳神経系疾患) (☆) 1. 脳神経系疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。
9/13	木	2	放射線腫瘍学	有賀 久哲 教授	診断と治療7 (放射線腫瘍学) (☆) 1. 放射線腫瘍学について概説できる。
9/20	木	2	歯科保存学講座 歯周療法学分野	八重柏 隆 教授	診断と治療8 (歯周病) (☆) 1. 口腔疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。
9/27	木	2	補綴・インプラント学講座	近藤 尚知 教授	診断と治療9 (口腔疾患) (☆) 1. 口腔疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療、外科的治療法について列挙できる。
10/4	木	2	小児科学講座	松本 敦 助教	診断と治療10 (小児疾患) (☆) 1. 小児の疾患の種類及びその症状とそれらに対する薬物治療について列挙できる。
10/11	木	2	病理学講座機能病態学分野	増田 友之 教授	病理学概論 (☆) 1. 病理診断について理解し、医学における病理学の役割について説明できる。

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	スタンダード薬学シリーズⅡ 6 「医療薬学Ⅰ～Ⅳ」	日本薬学会 編	東京化学同人	2015～ 2017

参	薬剤治療学 改訂第7版	吉尾 隆 他編	南山堂	2018
---	-------------	---------	-----	------

・成績評価方法

各講義終了後に提出させる「講義の概要」の提出状況（10%）およびレポート（90%）から総合的に評価する。

・特記事項・その他

各講義終了後に提出させる「講義の概要」および最終的に提出されたレポートについては、教員からのコメントを記入して返却する。

予習・復習のポイント：講義のポイントとなる点については、できるだけその日のうちに復習しておくこと。予習の必要は特にないが、機能形態学、細胞生物学、生化学、薬理学などで学習した内容については、再確認しておくとう理解の助けになる。

授業に対する復習の時間は約 30 分を要する。